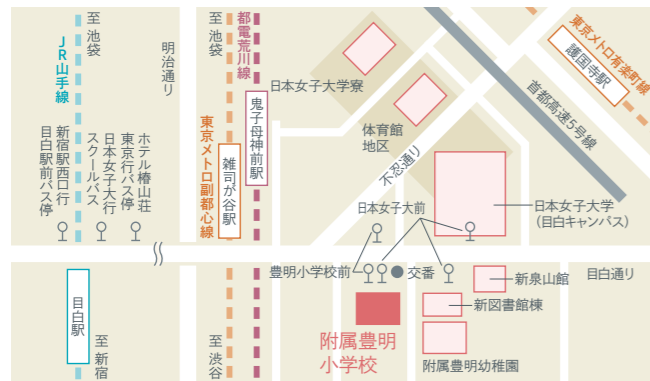
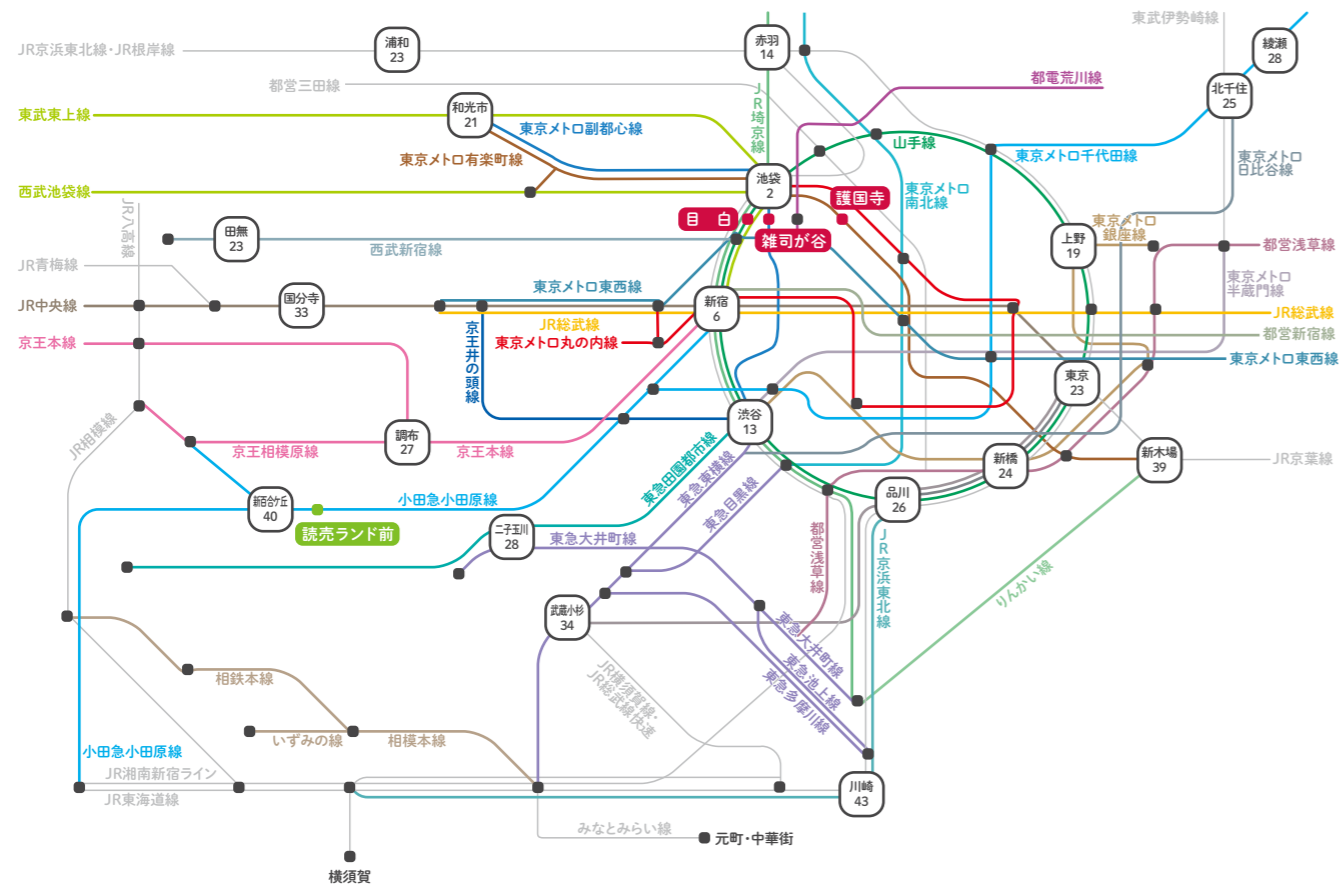


交通案内



Access

- JR山手線『目白』駅下車 徒歩約15分
『目白』駅より都バス(新宿駅西口行・椿山荘行)または日本女子大学行スクールバスにて日本女子大前下車
- 東京メトロ副都心線『雑司が谷』駅下車(3番出口) 徒歩約8分
- 東京メトロ有楽町線『護国寺』駅下車(4番出口) 徒歩約10分

日本女子大学附属豊明小学校

〒112-8681 東京都文京区目白台1-16-7
TEL.03-5981-3800 URL:<http://www.jwu.ac.jp/elm/>

併設校・園一覧

日本女子大学附属豊明幼稚園

〒112-8681 東京都文京区目白台1-18-14 TEL.03-5981-3852

日本女子大学附属中学校・高等学校

〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1 TEL.044-952-6705(中高事務室)

日本女子大学

目白キャンパス：〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 TEL.03-3943-3131
西生田キャンパス：〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1 TEL.044-966-2121

2021年度 学校説明会・公開行事

- | | | |
|-------|------------------------|----------|
| 2021年 | 5月29日(土) | オープンスクール |
| | 5月28日(金)・29日(土)・31日(月) | 写生会作品展 |
| | 6月16日(水) | 授業見学会 |
| | 9月11日(土) | 入試説明会 |
| | 9月25日(土) | 豊明秋の運動会 |

- | | | |
|-------|------------------------|---------|
| 2022年 | 1月21日(金)・22日(土)・24日(月) | 書き初め展示会 |
|-------|------------------------|---------|

状況により、日程および実施形態の変更が予想されます。
詳細につきましては、本校HPにてお知らせいたします。



日本女子大学
附属豊明小学校
HOMEI ELEMENTARY SCHOOL
AFFILIATED with J.W.U.

学校案内 2022



つな
がる
想
い
ひ
ろ
がる
未
来

豊明小学校は幼稚園から大学院までの一貫教育を軸に、子どもたちが伸び伸びと自分らしく成長できる学びの場を築いてきました。脈々と受け継がれる熱い教育への想いを胸に、「自学自動」「実物教育」の精神を通して自立した女性の育成をめざし、無限に広がる未来へと歩み出す子どもたちを見守ってまいります。



豊明と名のつく由来

創立者 成瀬仁蔵の教育思想に共鳴した森村市左衛門による森村豊明会の寄付により開校され、その厚意を記念するため「豊明」と名づけられました。



CONTENTS

03 教育の理念	09 教育課程	19 一貫教育／卒業生からのメッセージ
04 校長のあいさつ	13 学校生活	20 附属校・園／沿革
05 学びの特色	15 年間行事	21 安全対策(防災・防犯・感染症対策)
07 6年間の歩み	17 学習環境	22 豊明会





教育の理念

建学の精神は
学校生活のすべてに
受け継がれています。

三綱領



信念徹底

一生懸命がんばる子



自発創生

自分から進んで行動する子



共同奉仕

みんなと力を合わせ協力する子



創立者 成瀬 仁蔵

創立者 成瀬仁蔵は、1901年にわが国初の女子高等教育機関である日本女子大学を創立し、建学の精神として「女子を人として、婦人として、国民として教育する」ことの3つを掲げました。その5年後に附属豊明小学校を開校して一貫教育を実現。子どもが自ら学び、伸びていこうとする原動力を育む自学自動教育が実践され、その後の児童中心主義教育の先駆者となりました。晩年には、「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の三綱領を遺し、その理念は今も学園の一貫教育の核として脈々と受け継がれています。



理念と伝統に支えられた確かな女子教育 美しくゆたかな未来へ

校長 山口 博子

日本女子大学に受け継がれる「三綱領(信念徹底・自発創生・共同奉仕)」。豊明小学校ではこれを「一生懸命がんばる子」「自分から進んで行動する子」「みんなと力を合わせ協力する子」として分かりやすく説き指導しています。学校生活においては「実物教育」「自学自動」を基軸にした教育を行い、たとえば自らの手で田植えや稲刈りをし、収穫したお米を食べるまでを体験するなど、子どもたちが主体的に取り組むことでおのずと知性と感性を育む教育活動を実践しています。また、学校生活や行事を通して異学年と交流する取り組みは、思いやりの心やコミュニケーション力を養うだけでなく、「憧れの上級生」という身近な成長モデルを示すことで発達段階に合わせた成長を促す環境になっています。豊明小学校では、このような本校独自の教育活動を今後も一層充実させ、子どもたち一人ひとりの個性と可能性を大きく伸ばしていきたいと思っています。これからも教職員一同、ご家族と連携を取りながら、お子様のゆたかな未来の礎を築いてまいります。



縦横無尽に学ぶ。
楽しく、しなやかに、

自ら進んで学び、新たな問いを見つけ、一人の人間として社会へ関わっていく力を育む「自学自動」の精神。目の前で実物に触れ、肌で感じ、耳を澄まして聞く実感を持った「実物教育」。各教科それぞれの体験を重視した特色ある教育内容は、子どもたちのやさしく、ゆたかで、うつくしい心を育みます。そして児童一人ひとりが納得しながら学習成果を上げ、ゆたかな人間性を形成していきます。



写生会

感性を育てる

音楽や図工の教科学習でゆたかな感性を育てることはとても大切なことですが、本校では教科学習だけでなく日々の生活や行事などさまざまな取り組みを通して、感じる心を持ち、自己の表現と時間をかけて向き合う教育を実践しています。ともに作り上げる、他者の表現に触れるといった体験が子どもたちの情操をゆたかに育みます。



崖下教材園

四季を感じ、自然に学ぶ

本校の南斜面に広がる「崖下教材園」は、実物教育のひとつの場として自然観察や図工の写生といったさまざまな場面で活用されています。庭園化することを避け、近隣に自生している植物を植えるなど、できるだけ自然に近い環境を維持し、子どもたちが生きた材料を手に取り学習できる空間作りを心がけています。

自己の成長を残す

6年間を通して継続される日記は、毎日の小さな出来事を心に留める絵日記から始まり、中学年では、日々の生活の中で感じたこと、思ったことを文字のみで表現していきます。高学年になると客観的に自分の成長について記すようになります。日記を通して子どもたちと心の交流を図り、豊明小学校で過ごす日々が宝物となるよう指導しています。



児童の6年間の日記帳

〔人間性を深める〕



豊明なかよしDAY

学年を超えた交流

全学年縦割りのグループによる取り組みとして「豊明なかよしDAY」「一斉清掃」「なかよし集会」「1・6年の交流」「図工での共同作業」などがあります。学年を超えた交流で下級生への思いやりや、上級生への尊敬の心などが育まれる大切な時間となっています。

学校生活を活気づける

児童による自治活動を目的とした「児童会活動」と、助け合いの心や自主性を養う「奉仕部活動」は、より良い学校生活を築くうえで重要な役割を担っています。また、5年生からは共通の興味・関心を持つ児童が集まる「クラブ活動」も始まります。



児童会活動

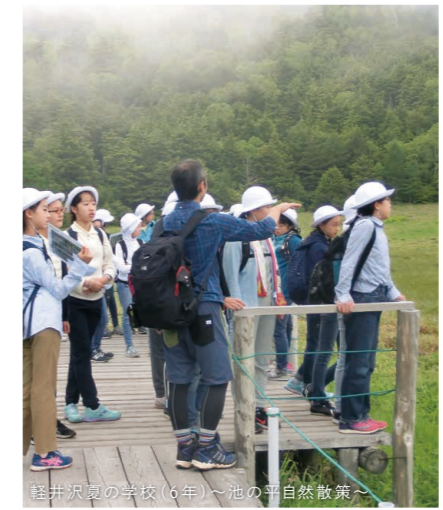


↑「人間関係をつくる」

↓「知識を広げる」

自然の中で心に刻む

ゆたかで美しい自然に囲まれた川崎市多摩区西生田の校地で行われる「春の農場体験」や「秋の収穫週間」など、本校では実物教育の一環として実地での学習体験を数多く行っています。「菅平スクレー(5年)」や「軽井沢夏の学校(6年)」では、自然から学び、自然の中で感じる体験を大切に、共同自治の生活を友だちとともに作り上げます。



軽井沢夏の学校(6年)～池の平自然散策～

将来への思いが膨らむ

高学年を対象に各教科や総合の授業の中で卒業生をはじめとする講師を招いての講演会を実施しています。作家・音楽家・医師・アナウンサーなど多様な分野で活躍されている先輩方との交流は、子どもたちに新鮮な感動をもたらす、卒業生の生き生きとした姿に将来を重ね合わせます。



リコーダーの演奏とお話(5年)

伝統・理念を受け継ぐ

創立者の女子教育にかけた情熱、信念、そして深い愛を継承することを目的に「告別講演記念講演」を毎年行っています。社会に貢献し活躍されている卒業生から、在校当時の思い出や本校の伝統・理念などを在校生が受け継ぐ大切な場となっています。



狂言の鑑賞とお話(3年)

社会を知る

本校では「実際に見て、肌で感じること」を重視して「国会議事堂見学」「清掃工場見学」「文京区めぐり」など、数多くの校外学習を行っています。児童の発達段階に合わせた系統的な学びの体験は、さまざまな学習課題を見出す貴重な機会となります。また、実物教育の具体的な実践の一つとして取り組んでいる体験学習。たとえば2年生ではパン作りをしたり、郵便屋さんやお店屋さんになりきったりする中で、礼儀やマナーなども楽しく学びます。



パン作り(2年)

伝統文化に触れる

日本の古都である奈良・京都を訪れる修学旅行(6年)や邦楽や狂言の鑑賞、学年そろっての書き初め大会など、日本文化に触れる機会を数多く用意しています。自国の文化や歴史を学び、体験することで現在の自分たちのあり方を見つめ直します。



修学旅行

異文化に触れる

国際交流が重要になった現在、本校でも国際理解への取り組みとして多様な学習体験を用意しています。英語学習はもちろんのこと、外国の音楽や料理を体験する授業やオーストラリアでのホームステイ、留学生との交流など、外国文化に触れる機会を設けています。



留学生との交流

〔将来を見つめる〕



低学年 日々の出会いや発見を大切に



中学年 個性と自主性を伸ばす



高学年 自覚や責任感を養う

6年間の歩み

輝きにあふれる日々の中で、一人ひとりの確かな成長を

教育の理念としての三綱領「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」を基本に、学年ごとに児童の発達段階に合わせた目標を設定し、日々の学びや生活に取り入れています。幼稚園から大学院までの一貫した教育体制の中、人として、女性として、自立の精神とゆたかな人間性の育成をめざします。



1
年生

学校生活に慣れる

小学校生活の第一歩は、通学や新しい環境に慣れていくことから始まります。入学週間では学校生活に慣れるためのスケジュールやカリキュラムを実施し、毎日の学校生活の中で楽しいこと、好きなことをたくさん見つけることを大切にしています。



2
年生

楽しみながら学ぶ

2年生になると、初めての妹である1年生との交流を通して、「お姉さん」になろうとする自覚が芽生えてきます。自分のことは自分ですという自発性が生まれてくるのもこの時期です。授業もだんだん本格的になってきて、学ぶことの楽しさに気づきます。



3
年生

新しいことに挑戦

新たに社会・理科・習字の教科が加わり、総合的学習も始まります。音楽ではリコーダー、図工では水彩絵の具、体育では大縄と、初めての挑戦もあります。また、書き初め大会への参加を通して、自分の世界を広げ、ゆたかな心や個性を育てていきます。



4
年生

自分を見つめる

4年生から奉仕部の活動が始まり、自分以外の周囲や集団を意識することで、より一層自身を高めていきます。今まで以上にアンテナを広げ、身体の成長とともに心のゆたかさも育成します。また、社会科見学や理科校外学習など、学習・生活活動も幅広く行います。



5
年生

目的意識を持つ

高学年として、学習の領域も活動のフィールドも広がります。共同生活の中で自分の役割を考え、目的意識を持って行動するようになります。また、縦割りの活動の中でリーダーシップを発揮する機会も増え、下級生を思いやる上級生らしさが芽生えます。



6
年生

自覚を深め発展する

最高学年として下級生をリードできるようになります。その中で思いやりを持って接することの大切さを感じ、責任感を深めていきます。また、共同生活のあり方や社会性を深く身につけます。学習も高度になり、勉学の大切さと心のゆたかさをバランスよく学びます。

教育課程

体験を重視した特色ある授業が確かな知力とゆたかな人間性を育む

「自学自動」「実物教育」の教えをもとに、各教科で体験を重視した特色ある授業を実践しています。学習環境を整え、基礎学力の定着を図るとともに、児童一人ひとりが主体的に取り組み、しっかりと理解したうえで確実にステップアップできるようきめ細やかに対応していきます。



国語

文章による表現力を重視し
感じる心と考える力を育む

創立当初より、文章による表現力を重視する本校では、独自の作文カリキュラムにより文章力と感性を育てています。そのほかに「話すこと・聞くこと・読むこと」など、国語力を育むための幅広い学習も行っています。読書・習字の時間は専門の教諭が担当します。



算数

個々の考えを大切に
さまざまなアプローチで問題に取り組む

算数では一つの答えを導くだけでなく、多様なアプローチや個々の考えを大切にしています。さらに論理的に説明する力を養い、子どもたちの意見や考えを共有化しながら応用力をつけていきます。数字上のみならず、具体的なものや場面で量感を育てるなど、作業的活動も取り入れています。



生活

心身の発達に即した
教科の枠にとらわれない学びの場

本校では、自学自動、実物教育の理念のもとに指導してきた低学年理科・社会の学習を土台とし、生活科という新しい学習内容を加えることで、独自のカリキュラムを作成しています。低学年児童の心身の発達に即した、教科の枠にとらわれない活動に取り組んでいます。



音楽

楽しく歌い、演奏することで
音楽への興味を深め、表現力を磨く

豊富な種類の楽器を揃え、さまざまな音楽に興味を持ち、学び合う姿勢を育てています。プロの演奏家をお招きし、本物の音楽に触れる機会も作っています。毎年行われる「豊明春の音楽会」では、1年生から6年生まで、全校児童が心一つにして合唱・合唱奏・器楽合奏をしています。



社会

実際の見学や観察、体験を通して
社会のしくみを学ぶ

生活科で培った社会認識の芽を原点とし、見学や観察、体験をカリキュラムの中心に位置づけています。まとめや発表を通して社会事象についての思考、資料活用能力をバランスよく育みます。発達段階に応じた知識・理解を深めるため、教材を吟味し、独自の副読本を用いています。



理科

実物教育ならではの観察や体験が
探究心や好奇心を養う

創立以来受け継がれてきた実物教育が大いに発揮される理科の授業。自然教材園での観察や実験体験を主として行い、その関連学習に授業時間の半分以上を充てています。じっくりと観察し実験の結果が「なぜそうなるか」を考察することで、物事の見方や考え方を育てます。



図工

自由な発想と創造する喜びが
子どもの可能性を広げる

一人ひとりの幼児期からの経験と驚きや発見を大切に瑞々しい表現を重視して、体と心を十分に使い絵画、彫像、自然物の工作、工芸などを6年間の発達に応じて学びます。海外小学校との作品交流も実施し、子どもたちの可能性を広げ、将来へ羽ばたく力になることをめざします。



家庭

毎日をより良く生きるための
意欲と希望を育てる

体験や経験が各々の家庭に生かされること、労働への感謝を感じられることをめざしています。エプロン、小物制作を通して生活に役立つものを作る楽しさを自ら感じ学びます。また調理実習では、自分たちで田植え・収穫したお米を炊いて食すなどの実物教育を大切に指導しています。

教育課程



体育

楽しく安全に身体能力を高め 健全な心身を育成する

成長著しい小学生の発達に応じ、系統立てたカリキュラムを組んでいます。70年以上の伝統を持つリトミック、通年の水泳、自然に囲まれた西生田グラウンドでの運動会など、プログラムは多彩です。身体能力を高め、健全な心と身体、ゆたかな社会性、運動する喜びを育成します。



道徳

人として、女性として 健やかな心を育成する

創立者の提唱した三綱領「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」を基本とする信条を机上で学ぶだけでなく、行事などのさまざまな体験を通して育てています。人として、女性としてどう生きるかという大切な命題を自分たちの力で考え、心ゆたかな答えを導き出せるよう指導しています。



特別活動

集団活動から心身の調和のとれた 発達と個性の伸長を図る

集団活動は子どもたちの心身のバランスを整え、個性を伸ばす大切な取り組みです。学級活動・児童会活動・奉仕部活動・クラブ活動・学校行事を通して、より良い生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、自らの考えを深め、成長していきます。



英語

英語を理解する喜びや 思いを伝える楽しさを知る

母国語を習得したときと同じように、英語をたくさん聞くことから始めます。大意を類推し、聞こえてくる英語を真似しながら徐々に話す力を身につけていき、それが読む力の基礎になります。1年生と4・5・6年生は、1クラスを2グループに分けた少人数制での授業になります。



情報

一人一台のiPad使用で、社会の中で正しく 情報に対応できる力を身につける

情報の授業ではiPadの使い方やタイピング、プログラミング、プレゼンテーション、インターネット、情報モラル、リテラシー、著作権等のカリキュラムを総合的に学習することで、「情報」を適切に収集・発信する力を育てています。これらの技能は各教科においても活用されます。



総合

全人教育を目的とした 総合的な学びが個性を伸ばす

国際理解、環境、人間、平和の4つのテーマを通じ、自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断していく「自学自動」の精神を養います。さまざまな国の文化に触れ、環境の大切さ、生命の尊さを学び、平和な社会を築くための広い視野と姿勢を育てる全人教育を目的とした総合的な学習です。

PICK UP

国際社会やAI化の時代に活躍する子どもたちを育成するため、独自のカリキュラムで英語教育やプログラミング教育に取り組んでいます。

英語

発達段階に応じた教育で
しっかりと生きた英語力を身につける。



日本女子大学・英文学科と連携してカリキュラムを作り、メソッドを決めています。授業を受け持つのは同学科の児童英語教員養成講座を修了し、日本の教員免許を持った、プロの専任教員です。日本の子どもたちの特性をよく

知っていて、しかも英語で育ったバイリンガルの先生が、訛りのない美しい発音の英語を子どもたちにたくさん聞かせます。子どもたちはそこから意味を類推し、使ってみて、試行錯誤しながら正しい使い方ができるようになっていきます。成功体験を積み重ねられるようにできたカリキュラムの中で、子どもたちは英語が大好きになり、丸暗記の借り物ではない、自分の言葉としての英語を身につけていきます。



オーストラリア 海外体験プログラム

オーストラリアの小学校Brightwater State Schoolと姉妹校提携を結び、相互交流をすることになりました。6年生の希望者が、現地でホームステイをしながら海外生活を体験します。自立心を養い、自分自身を再発見するとともに、世界で活躍できる基となる体験になることでしょう。

情報

10年以上の歴史を持つ、
系統化されたプログラミング教育。

本校のプログラミング教育は、各教科の中に断片的に取り入れる学習方法ではありません。「情報」というひとつの教科の中で系統的に学ぶことで、より分かりやすく、深みのある教育を実現しています。具体的には1年生でiPadの扱い方とアプリ(ロイノート)の基本操作を楽しく学び、2年生からプログラミング学習に進みます。3年生でのローマ字入力と4年生でのインターネット検索を盛り込みながら、高学年まで段階的に進めるカリキュラムになっています。プログラミングには、画面上で命令文をブロックのように組み合わせるビジュアルプログラミング、コンピュータを使わないアンブレグドプログラミング、ものを実際にプログラミングで動かすフィジカルプログラミングがあり、論理的な思考力や創造力などを身につけます。



カリキュラム

教科/学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	306	315	250	257	208	207
算数	136	175	175	181	188	188
社会	—	—	96	119	111	111
理科	—	—	104	109	123	122
生活	102	105	—	—	—	—
音楽	68	75	62	62	66	67
図工	68	72	66	66	61	61
家庭	—	—	—	—	60	61
体育	102	110	117	119	120	115
道徳	38	39	39	39	39	39
特別活動	34	35	35	66	66	66
英語	15	20	35	35	71	71
総合	11	16	78	70	70	70

総合には年間10~15時間の情報の授業を含む。

学校生活

明るい声とはじける笑顔、生き生きと流れていく充実した時間

入学したその日から、小学生としての楽しく活動的な日々が始まります。ちょっぴり不安を抱えながらも直ぐにお友だちと溶け合い、明るく元気な声をはじけます。学びの楽しさも徐々に芽生え、登校から下校まで児童たちの1日は笑顔と友情と発見に満ちています。



「おはようございます」明るく元気な声と笑顔で豊明小学校の1日は始まります。

7:30~8:20

登校

授業は1コマ40分間です。子どもたちは充実した学習環境の中で伸び伸びと勉強に取り組みます。



8:40~12:00

午前の授業



昼食は給食の日(週3日)とお弁当の日(週2日)があります。また、栄養バランスや量を自分で考える「セレクトバイキング給食」を行い、食育にも力を入れています。

昼食・昼休み

毎日過ごす校舎だからこそ心を込めて清掃します。一斉清掃では専科教室や階段・玄関も清掃します。



清掃

13:10~14:40

午後の授業



16:00

最終下校



朝礼



学級指導



係や奉仕部の当番を通して1日を気持ちよく過ごすための準備をする時間です。朝礼では校長先生のお話、児童委員会からの報告、体操、全学年縦割りグループで交流する「なかよし集会」もあります。



午後の授業では教科学習に加え、奉仕部の活動やクラブの時間があります。自分の役割や責任を果たし、目標に向かって取り組むことで視野が広がり、新たな自分に出会います。

制服紹介

長い伝統を受け継ぐ凛とした装い

現在の制服は冬服・夏服ともに昭和初期から続く伝統的なセーラー服です(式典時は白色のスカーフを着用)。伝統を守りつつ、着やすさや着心地の良さといった高い機能性も備えています。



冬服



式服



夏服



児童会活動



児童委員会は4年生以上の児童による議長団や児童委員、奉仕部総部長で組織され、高い意識を持って運営されています。学期ごとの目標を決めて発表する学内活動や社会に目を向けたボランティア活動も実施。委員を中心に全児童へ呼びかけながら、大地に根ざす自己の根幹と自治の精神の芽を育てています。

奉仕部活動



美化部、図書部、科学部、運動部、保健部、家庭部、視聴覚部のいずれかに4年生以上の全児童が所属し、日常的な当番活動や、月1回の部会などが行われています。互いに協力することや、下級生への働きかけを通じて上級生としての自覚が高まり、思いやりを持ったゆたかな人間形成の機会になっています。

クラブ活動



5年生以上の児童が共通の興味を通してクラブ活動を行っています。テニス、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、サッカー、剣道、体操、水泳、サイエンス、美術、演劇、クッキング、器楽、手芸、ヴォーカル、写真の16のクラブがあり、クラスや学年の枠を超え、ともに取り組む中で良好な人間関係を築いていきます。

年間行事

色とりどりにきらめく思い出の一つひとつが、子どもたちの成長の証

四季を通じて学校生活を生き生きと活気づける年間行事は、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、よりよい学校生活を築こうとする自主的な態度を育てます。また美しい自然や文化との出会いなど新しい体験が盛りだくさんです。



4月

入学式・入学週間

豊明講堂で行われる入学式は、あたたかな笑顔と拍手の中、全校児童と教職員が新入生を迎えます。



5月

菅平スコレー

5年生が長野県の菅平で共同生活を行います。大自然の中、伸び伸びと充実した3日間を過ごします。



9月

豊明秋の運動会

緑に囲まれた西生田キャンパスのグラウンドで、全校児童が元気に力いっぱい競技や演技に取り組みます。



1月

書き初め大会

4月

歓迎遠足

1年生と6年生が手をつないで行く歓迎遠足。豊明小学校の一員として楽しい1日を過ごします。



6月

春の農場体験

里山の景観を残す緑ゆたかな西生田キャンパスの校地にある農場で、サツマイモの苗植え、田植えやジャガイモ掘りなどを行います。



10月

秋の収穫週間

春に植えたサツマイモの収穫や稲刈りなどが行われ、子どもたちは実りの様子を観察し、収穫の喜びを体験します。



1月

豊明春の音楽会

梅の花がほころぶ頃、伝統の音楽会が開催され、全校児童が心を合わせた器楽合奏や歌声が響き渡ります。



10月

豊明なかよしDAY

全学年縦割りグループによる全校活動は、他学年との交流から思いやりや尊敬の心を学ぶ大切な時間です。



12月

修学旅行



7月

軽井沢夏の学校

6年生は三泉寮で3泊4日の共同自治の生活を行い、自分自身を見つける機会となっています。



4月

写生会

2年生から6年生による写生会では、春の自然に触れ、その感動をそれぞれの作品に込めて描きます。



3月

卒業式

卒業式では一人ひとりに卒業証書が授与され、6年間の思い出を胸にそれぞれの未来へ歩み出します。



4

- 始業式・入学式・歓迎会
- 創立記念式・植樹
- 歓迎遠足(1・6年)
- 健康診断
- 遠足(1~5年)
- 写生会(2~6年)
- 避難訓練

5

- 豊明会総会
- 写生会作品展
- 生活科校外学習
- 理科校外学習(3年)
- 菅平スコレー(5年)

6

- 理科校外学習(4・5年)
- 社会科校外学習(3・4年)
- 全校参観日
- 成瀬先生生誕記念日
- 虫歯予防指導(1・4年)

7

- 軽井沢夏の学校(6年)
- 大掃除
- 終業式
- 災害対策学校宿泊体験(4年)

8

- 夏休み
- オーストラリア海外体験プログラム

9

- 始業式
- 運動会
- 理科校外学習(4年)

10

- 豊明なかよしDAY
- 生活科校外学習(1・2年)
- 理科校外学習(3・5年)
- 避難訓練
- 社会科校外学習(6年)

11

- 入学試験
- 社会科校外学習(3~5年)
- 生活科校外学習(2年)

12

- 修学旅行(6年)
- 大掃除
- 終業式

1

- 始業式
- 書き初め大会(3~6年)
- 理科校外学習(5年)
- 書き初め展示会
- 成瀬先生告別講演記念講演
- 音楽会

2

- 生活科校外学習(2年)
- 避難訓練
- 東初協児童作品展「ほらできたよ」

3

- 成瀬先生墓参・創立者ご命日
- 送別会/奉仕部送別会
- 卒業週間(6年)
- 大掃除
- 修了式
- 卒業式

学習環境

確かな知性とゆたかな感性を育む自然にいだかれた学習空間

豊明小学校は、江戸時代には風光明媚な遊山の地として多くの武家屋敷を抱えた目白台に位置しています。南面には緑多い自然教材園や畑を整備し、子どもたちが常に、光や風、生き物の営みを感じながら生活できるように設計されています。



● 豊明プール

水深を変えられ、高い安全性を誇る温水プールです。1年を通して行う授業で卒業までにはほぼ全児童が泳げるようになります。



● グラウンド

都心には珍しい土のグラウンドは、土や空気、緑などの自然環境を大切に本校の理念を具現化しています。



● 豊明講堂 (体育館)

始業式などの式典や体育の授業、また、舞台は歓迎会や送別会の劇の発表にも使用されます。体育の授業では鉄棒や縄跳び検定など、体をつくる運動に挑戦する場ともなります。



● コンピュータ室

図書室と並ぶ学習センターとして使用しています。教室やワークスペースでも使えるように児童1人1台のiPadを用意しています。



● 図書室

「直接経験と間接経験を結びつける場」として学校の中心に位置づけられています。子どもたちが集まる大切な場所としてだけでなく、「読書センター」「学習・情報センター」としての機能を果たすように設計されています。



● 音楽室

子どもたちに本物の音楽を与え、聴く耳を育てるために、音響のよい音楽室の中に本格的な楽器を揃えています。創造的活動、アンサンブルが可能なスペースを確保し、本物の音色が感性を高めます。



● 理科室

実物教育を具現化するための観察・実験器具を一人ひとりが手に取ることができるように準備されています。



● 崖下教材園 (自然教材園)

武蔵野の在来種を中心に四季折々の植物が育つよう、教員の手で維持・管理しています。他に類を見ない、実物教育のための教材園です。



● 家庭科室

高学年児童が安全に作業できるように考えられた調理台をはじめ、生活をより良くするアイデアを実現するための器具を整えました。

● 児童会室

机を円形に配置することで、お互いの顔を見ながら議論を行うことができます。



● 図工室

手工教育・実物教育に適した、十分な広さの作業スペースと設備を整え、互いの作品を鑑賞することができます。



● ミニパーク

雨天用グラウンドや低学年の遊び場として広く活用します。ジャングルジムやブランコなどの遊具も揃っています。



● 多目的ホール

保護者会、学年集会など多目的に使うことができるホールです。低床のステージは子どもたちに、より親近感の湧く視線でミニコンサートや講演を聴く機会を与えます。

伝統の一貫教育

ゆたかな人間性を養う、長い歴史と伝統が築き上げた教育体制

豊明小学校は、幼児期から社会人まで、生涯教育のための一貫した教育体制の中にあります。この一貫教育は100年以上の歴史を重ねて確立され、附属豊明幼稚園から大学院まで、伝統ある建学の精神を核とし、人間として、女性として、自立の精神と確かな教養を身につけます。



日本女子大学附属豊明小学校

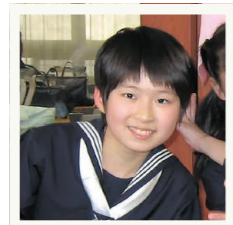
日本女子大学附属豊明幼稚園

日本女子大学
目白キャンパス

Message 卒業生からのメッセージ

豊明小学校で、物事に精一杯取り組む大切さを学びました。

98年生 2009年卒業
浅野 早紀さん
日本女子大学 理学部 数物科学科卒業
現 順天堂大学 医学部1年生



小学校の頃、先生から「勉強しなさい」と注意を受けたことは一度もありませんでした。豊明小学校には「自学」という学び方が存在します。興味を持ったことを児童が自発的に学び、その成果を担任の先生に見せる機会が毎週あるのです。先生から指示されて動くのではなく、自分で積極的に勉強する姿勢をご指導いただいたのだと思います。その場その場で自分が学ぶべき事柄を純粋に追求していった結果、日本女子大学で物理を学び、その後医学部へ進むという思い切った選択をすることができました。豊明小学校で育てていただいたお蔭で今の自分があることに、感謝しています。

豊明小学校での人間教育は、今も私の大黒柱です。

78年生 1989年卒業
スコウホイ遠藤 真由さん(旧姓 遠藤)
日本女子大学 家政学部 住居学科卒業
シャネル合同会社 設計スタジオ部長



『女性である事の素晴らしさを忘れずに、でも芯は強く、惜しまず努力を重ねる』という私の価値観は豊明小学校で培われました。限界を決めず挑戦し、過程を楽しもうと思えるのも、先生方の温かなご指導によるものです。大学まで内部進学をしましたが、高校ではデンマークへ、大学では姉妹校米ウェルズリー大学へ留学をしました。卒業後ハーバード大学院へ進み、NYでの勤務経験を経て、現在日本でデザイン設計業務をしながら二児の育児をしています。受験生の皆様が母校で限界なき力を養い、女性として人間として大きく羽ばたいていかれる事を心より応援しております。

日本女子大学



自分の可能性を追求し、知識と人間性を深める

1901年の創立以来、女子高等教育の先駆的立場を担ってきた日本女子大学は、4学部15学科からなる総合大学です。人間生活・人文・社会・自然科学の4つの総合力を生かし、学部や学科の枠を越えた自由でゆたかな学修を推進しています。専門科目以外にも、教養科目や1年次から受講できるキャリア教育、コミュニケーション重視の外国語教育科目を展開しています。徹底した少人数教育を通して、学生一人ひとりの主体性を生かし、創立者成瀬仁蔵が目指した「聡明な知力を有する女性」、そして社会に貢献できる人材を育成します。

日本女子大学附属中学校・高等学校



ゆたかな自然環境の中で、自ら学ぶ姿勢を育てる

日本女子大学附属中学校・高等学校は、西生田の自然に囲まれたゆたかな環境に学舎があります。中学校では生徒たちが自分自身の学習方法を発見し、生涯学んでいく姿勢を育てます。また、高等学校ではさらにその学ぶ力を大きく伸ばすことを目標とし「自ら考え自ら学び自ら行動を起こすこと」を教育の根本と考えています。理系、文系などのコースに分けることなく、すべての教科・科目に亘る偏りのない学習で広い基礎知識を身につけ、将来の発展に備えることが学習活動の重要な指針です。

日本女子大学附属豊明幼稚園



すこやかな身体と、のびやかな心を育てる

豊明幼稚園は人間形成の基礎を培う幼児期に、心身ともにすこやかに、将来大きく伸びる子どもの育成をめざします。めざす子どもたちの姿は「健康で、明るく、元気な子ども」「生き生きとした新鮮な心で物事に接し、工夫し、つくり出す喜びが感じられる子ども」「お互いの良さを認め合い、仲良く協力できる子ども」「自主的な生活態度を身につけ、自分のことは自分でし、最後までやり抜く子ども」です。

一般社団法人 JWUほうめいこどもクラブ

創立百余年を経た現在においては、多様な女性の進出により、共働き世帯の増加や子育てと自己実現の両立など、さまざまなニーズが社会背景としてあります。保護者を応援しそれに応じていくことは、本校の社会理念と合致するものです。JWUほうめいこどもクラブでは「日本女子大学のコミュニティを最大限に生かし、自ら考え進んで活動し、協力できる安らぎの居場所を提供する」をコンセプトとし、保護者・児童にとって質の良い実りある放課後の時間を提供することをめざしています。



活動内容	対象児童	豊明小学校児童 主に1〜3年生 約30名(各曜日)
	場所	豊明小学校隣、桜楓学園2階 幼稚園・小学校・大学などの施設も利用
	プログラム	独自のプログラム・桜楓学園(卒業生運営)との連携

沿革

- 1901年(明治34) 日本女子大学創立
- 1906年(明治39) 附属豊明小学校開校(第1回入学・男女11名)
- 1918年(大正 7) 入学生を女児に限る
- 1919年(大正 8) 成瀬仁蔵校長 逝去
- 1921年(大正10) 河野清丸第1代主事による「自動主義的教育」の実践(同年8月『八大教育主張』の1つとして発表される)
- 1923年(大正12) 豊明父母会成立(PTA組織の始まり)
- 1938年(昭和13) 保健食の開始(母親たちの手による手作りの給食から始まる)
- 1939年(昭和14) 軽井沢三泉寮での夏期修養会が始まる(5・6年生参加、昭和17年まで実施)
- 1941年(昭和16) 日本女子大学附属豊明初等学校と改称(国民学校令による)
- 1944年(昭和19) 軽井沢三泉寮にて疎開学寮開寮(日本女子大学附属豊明初等学校軽井沢学寮)
- 1945年(昭和20) 軽井沢学寮閉寮 授業再開 新校歌制定
- 1946年(昭和21) 給食開始 校章制定(現在の校章定まる)
- 1947年(昭和22) 日本女子大学附属豊明小学校に復す 軽井沢三泉寮での夏期修養会(現『軽井沢夏の学校』)始まる
- 1948年(昭和23) 豊明小学校PTA成立
- 1949年(昭和24) 5日制授業開始
- 1957年(昭和32) ロックフェラー夫人来観、インディラ・ガンジー氏来観
- 1958年(昭和33) 成績通知表廃止(保護者の面接にかえる)
- 1967年(昭和42) 附属豊明小学校創立60周年(記念式典・記念展覧会・運動会)
- 1969年(昭和44) 旧豊明プール竣工(温水による年間を通じた指導の開始)
- 1974年(昭和49) 現第2校舎(豊明講堂等)竣工
- 1976年(昭和51) 授業5日制の完全実施 全学年「さくら」「わかば」「かえで」の3クラス制となる
- 1981年(昭和56) PTA組織を豊明小学校豊明会と改称
- 1983年(昭和58) 全校遠足実施(現『豊明なかよしDAY』、翌年から開始の一斉清掃とともに全校縦割りグループによる活動の柱となる)
- 1986年(昭和61) 附属豊明小学校創立80周年(記念式典・記念祝賀祭)
- 1997年(平成 9) 新校舎移転完了 児童お祝いの会
- 1998年(平成10) 新校舎(現第1校舎)落成記念式典
- 1999年(平成11) 『菅平スロー』高原の学校始まる(5年生)
- 2006年(平成18) 創立100周年記念式典(祝賀祭2005年・児童作品展2007年・学校公開2009年を実施)
- 2015年(平成27) 日本私立小学校連合会東京地区教員研修会会場(1967年、2000年に続き3回目) 学校隣りに放課後サポートとして(一社)JWUほうめいこどもクラブが創設される

安全対策 (防災・防犯・感染症対策)

児童の安全を第一に学校と保護者が一丸となった取り組み



1 防災への意識を高めるために、小冊子「地震が起きたらあわてないために」を発行・配布

いつ起こるかわからない災害への備えの一助として、小冊子「地震が起きたらあわてないために」を全家庭に配布しています。豊明会の災害防犯特別対策委員会が中心となり冊子を制作し、災害が発生したときにどのように行動をするか、日頃から何を準備しておくか良いかなど、家庭と児童に必要な情報をまとめています。



2 引き取り訓練と第2通学路を利用した下校訓練の実施

災害対策の一貫として豊明会の災害防犯特別対策委員会が中心となり、2学期の始業式後に保護者による引き取り訓練を行っています。また、引き取り訓練後は第2通学路を利用して下校します。普段使用している主要交通機関が不通になった場合の帰宅ルート確認と訓練を行い、災害時に児童が安全、確実に帰宅できるよう指導しています。

3 高度利用者向け緊急地震速報システムの設置

本校所在地付近で、震度5弱以上の大きな地震が予測された際には、全校に非常放送が流れるように高度利用者向けの緊急地震速報システムを設置しています。



4 防災・防犯訓練を数多く行い、児童の意識を高める

震災、火災から児童の生命を守るために避難訓練などの防災訓練を行っています。大地震を想定した訓練では、緊急地震速報システムの訓練放送を活用し、実際の速報発生時に備えています。また、災害時の身の守り方や校内の防犯設備についても学びます。防犯対策としても、警察の指導で教職員と全校児童を対象とした、不審者侵入時の対策や登下校時の安全を図るための訓練を実施しています。また、警備会社による低学年児童を対象とした「あんしん教室」や都バスによる「安全教室」なども行っています。



5 災害時を想定した学校宿泊体験(4年生)

4年生は災害時を想定して学校校舎内で1泊2日の宿泊体験を行います。1日目は煙ハウスと起震車による災害疑似体験や、防災ブックを利用して災害について学びます。2日目は災害救助犬のデモンストレーションや災害用品の見学、消火訓練や消防車の搭乗体験を行い、保護者の引き取り訓練も実施しています。



6 警備員の常駐警備と監視カメラの設置

児童の安全な登下校と不審者などの侵入に備え、正門には警備員が常駐。また、万一の不審者などの侵入にもすぐに対応できるよう、校内各所に監視カメラを設置し、警備員の校内巡回警備も頻繁に行っています。

7 緊急時は電話やメールによる一斉配信システムや保護者用ウェブサイトにて情報を公開

地震、台風、交通機関の乱れなどによる休校情報や緊急連絡は、電話やメールによる一斉配信システムと本校保護者用のウェブサイトにて行います。



8 感染症対策

感染症対策として、児童の登校時に体調、体温を確認しています。また登校直後、授業後、給食の前など多くの場面で、手洗いを徹底しています。教室の机や専科教室で共用した箇所は、使用後に除菌消毒を行っています。

豊明会

子どもたちの健全な成長を保護者とともに見守る

豊明会は次の3つを目的に活動しています。

- ①家庭・学校及び社会における児童の心身の健全な発達を図り、児童の福祉の増進に努める。
- ②学校の教育的環境の整備と教育設備の充実を図る。
- ③民主的教育に対する会員の理解を深め且つその増進を図る。

豊明小学校に在籍する児童の保護者と教職員で構成されています。児童の健全な発達や福祉の増進に努めるとともに、学校の教育的環境の整備と教育設備の充実を図るための活動を行っています。

役員会、実行委員会を定期的に開催。活動計画を話し合い、総会で承認を受けて実行しています。実際の活動は学級部、厚生部、新聞部、文化部、財務部、監査部、サポート部、災害防犯特別対策委員会の各組織に分かれて行っています。



バザールの開催

制服交換バザールを年1回開催しています。成長に伴いサイズが合わなくなってもすぐには新調せず、「ものを大切にしていこう」を保護者自ら実践しています。



見学会 (講演会・観劇会などを企画・主催)

保護者間の親睦を図り、また見聞を広めるうえで開催されています。給食試食会のほか、講演会、工場見学会や観劇会など、保護者が中心となり企画、開催しています。



豊明会新聞の発行

豊明会の活動や学校の様子を伝えることを目的として、年2回発行しています。取材・原稿依頼・原稿作成・紙面構成などの各作業を通して学年・クラスを超えた保護者間のネットワーク作りや教員との対話も盛んに行われています。



ボランティア活動

運動会、展示会、講演会などさまざまな行事のお手伝いや、総合的学習における補助や協力などを行っています。



災害対策への取り組み

災害時の対応をまとめた小冊子の作成や学校近隣の避難場所の調査、災害時の引き渡しの手順の確認や訓練などを行っています。宿泊体験の際には、防災用品の展示ブースの設置も行っています。

各部の活動

学級部

遠足や校外学習の集合・解散や宿泊行事準備のお手伝い、運動会でのボランティア募集や児童への参加賞の準備と配布、保護者会費・積立金の徴収と会計報告などの活動を行っています。

厚生部

児童が給食時に使用する白衣などを毎学期末に点検・修理を行っています。また、厚生部主催で「制服交換バザール」を年1回開催しています。

新聞部

豊明会の活動や学校の様子を伝えることを目的として、豊明会新聞「豊明」を発行しています。保護者や教員が一丸となり各作業に取り組んでいます。

文化部

保護者間の親睦を図り、見聞を広める目的で毎年、見学会・講演会・観劇会などを企画・主催しています。

財務部

年度始めに各部への部費の分配や、年度末の各部の収支決算報告書の集計、次年度の予算案の作成などを行っています。

監査部

年度末に収支決算報告書、通帳などを監査し、総会において監査報告を行います。

サポート部

豊明会のお父様方の子どもの成長を見守りたいという想いから平成25年度より活動を開始。崖下教材園の落ち葉清掃や、親子で参加する崖下散策などの活動を行っています。

災害防犯特別対策委員会

災害時学校宿泊体験、2学期始業式の全学年引き取り訓練などのサポートや災害時行動服の検討や山手線周辺避難場所一覧表などの作成を通して、災害や防犯に関する啓蒙活動を行っています。